有限会社小諸動物病院

Pick Up!

令和元・２年度

■事業計画名

CT検査装置及び３Dプリンタ活用による高度動物医療の提供

■概　要

CT検査装置及び３Dプリンタを組み合わせて、ペットの患部の立体模型を造り、病状説明や術前シミュレーション等に活用する先端的な高度動物医療サービスを、生産プロセスの改善により低価格・低リスクで提供する。

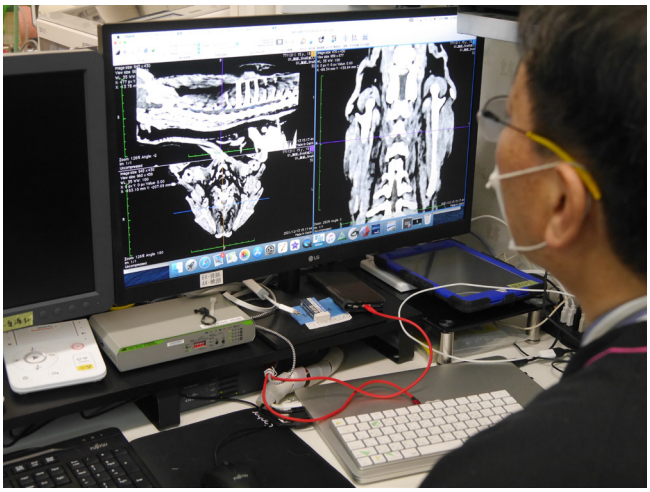
■分　類

＜対象類型＞　革新的サービス
＜事業類型＞　一般型

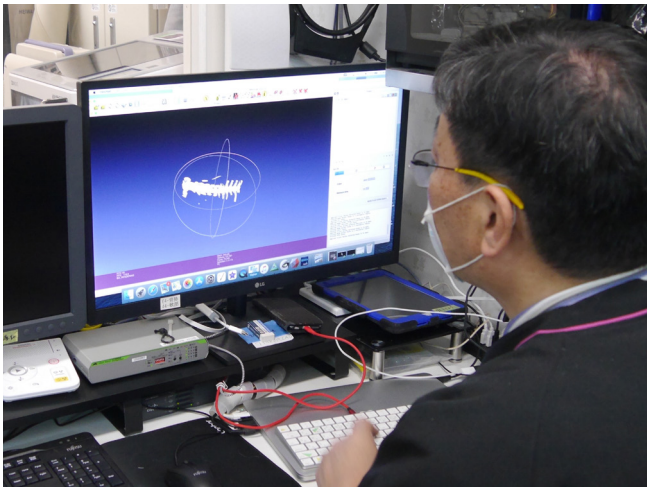
■成　果

従前より動物医療について、CT検査装置の撮影データを基に３Dプリンタで患部の立体模型を製作し、術前シミュレーション等に利用していたが、撮影時間が長く掛かるため、課題があった。

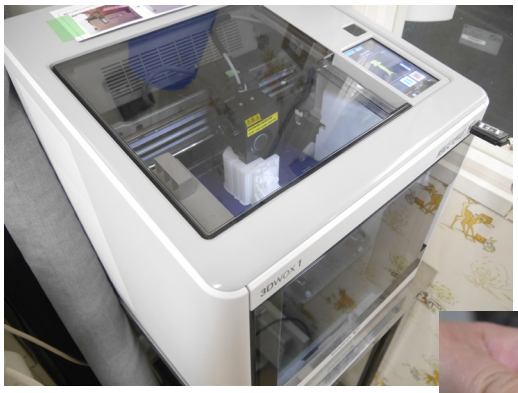
これを解決する取り組みを行い、ほぼ計画どおりの成果が上げられ、生産性向上が実現した。



デジタルCT画像



3DCADでCT画像をモデル化



3Dプリンターに出力



立体模型が完成



Cアーム・腹腔鏡を用いた手術

有限会社小諸動物病院（小諸市）

「大切な“家族”のために最善を尽くす」を理念に、最新医療設備を整え、年中無休で先端的治療を提供。


ネコの喉の腫瘍を立体模型化

診療は年中無休

総務省家計調査によると、一世帯当たりの動物病院代が2005年から2015年の10年間で47％増加。ペットを家族の一員として扱い、病気やケガになった時により高度な獣医療を求めるニーズが高まっています。


待合室

小諸動物病院は、竹村誠一院長が1983（昭和58）年に開業。犬・猫を中心に、ウサギやハムスター、小型鳥類などのペットを専門に診療しています。院長を含め３人の獣医師と動物看護師６人による診療は年中無休。その安心感と、スタッフの豊富な経験と高い技能で顧客の信頼を得ています。

さらにCT検査装置、超音波診断装置、腹腔鏡手術設備、テレビレントゲン、吸入麻酔器などを完備。特にCT検査装置は地域に先がけて導入し、的確な診断に活用しています。このように設備が充実した動物病院は県内ではまだ少なく、先端的な獣医療への取り組みも大きな強みとなっています。

「動物病院は保険がきかずお金がかかるので、かつてはお金をかけずに治療してという要望も多かった。今は逆で、CTなどの先端設備で検査、治療をするとお金はかかるのですが、できるだけのことをしてほしいと言われます」と竹村院長は話します。

臓器の立体模型化に取り組む


手術室

竹村院長はCT検査装置の３Dデータを利用し、３Dプリンターによる動物の臓器の立体模型化にも取り組んでいます。これは他の動物病院ではほとんど行っていない診療方法。

「手術は一発勝負。病変部を特定し、どうなっているのか分かれば、手術の具体的なプランが立てられ、シミュレーションもできる。それが大きな魅力です。家族への説明も分かりやすいと思います」。

ただ、CT検査時に麻酔をかけるリスクや料金の高さが課題に。同院では撮影時間を大幅に短縮することで麻酔リスクを回避しようと、新たに高速のCT検査装置を導入（令和元年度補正ものづくり補助金活用）。料金負担の軽減は、獣医師・看護師の作業時間の短縮を図るなど、生産性を向上させることで実現しました。

「今一番関心を持っているのは、内視鏡手術」と竹村院長。その背景には、犬の高齢化にともない椎間板ヘルニアの症例が増えていることがあります。根本治療は人間同様、手術ですが、犬は骨が小さいため困難な治療となり、諦めているケースがほとんど。しかし、CTと３Dプリンターによる立体模型と内視鏡を活用することで、動物の負担を軽減し、低リスクでの手術が可能です。「より身体に負担の少ない手術を目指し、腹腔鏡や内視鏡を今後さらに充実させていきたいと考えています」。



高速のCT検査装置「SOMATOM go.Now」

同院は「大切な“家族”のために最善を尽くす」を理念に掲げています。



有限会社小諸動物病院



代　　表	代表取締役（院長）　竹村 誠一
創　　立	1983（昭和58）年
資 本 金	300万円
従業員数	7名
本　　社	小諸市御影新田2728-1
	TEL.0267-23-6644　FAX.0267-25-8728
事業内容	犬・猫などの小動物の診察・治療

https://www.komoro-animal.jp